

6) 遠藤俊郎：眼症状を主訴とする脳外科疾患—血管性病変を中心として—。第15回富山眼科集談会特別講演，1986，11，富山

整 形 外 科 学

教 授	辻 陽 雄
助 教 授	伊 藤 達 雄
講 師	館 崎 慎一郎
講 師	山 田 均
講 師	海 木 玄 郷
助 手	加 藤 義 治 雄
助 手	高 野 治 雄 夫
助 手	松 井 寿 夫
助 手	岡 野 良 文
助 手	森 田 多 哉 啓
助 手	小 坂 泰 啓
助 手	清 水 美 恵 子
文 部 技 官	佐 野 明 美

◆ 著 書

1) 寺山和雄，辻陽雄監訳：Surgical Exposures in Orthopaedics-The Anatomic Approach. by Stanley Hoppenfeld and Piet deBoer, Lippincott, 1984.

2) 辻 陽雄訳：脊椎. 同上：210—300，南江堂，1986.

3) 辻 陽雄：腰椎椎間ヘルニア。「骨関節ハンドブック」(吉利和監修)，248—260，メディカルフレンド社，1986.

4) 辻 陽雄：脊椎分離迂り症。「骨関節ハンドブック」(吉利和監修)，261—265，メディカルフレンド社，1986.

5) 辻 陽雄：脊柱管狭窄症。「骨関節ハンドブック」(吉利和監修)，265—266，メディカルフレンド社，1986.

6) 辻 陽雄：診察と検査。「標準整形外科学」(第3版改訂)，75—125，医学書院，1986.

7) 辻 陽雄：骨関節の感染症。「標準整形外科学」(第3版改訂)，180—199，医学書院，1986.

8) Takano H., Tamaki T., Noguchi T., Takakuwa K.: Comparison of Spinal Cord Evoked Potentials Elicited by Spinal Cord and Peripheral Nerve Stimulation. Spinal Cord Monitoring, Ed. by J. Schramm and S. J. Jones, pp 29—34, Springer-Verlag, Heidelberg, 1985.

9) Tamaki T., Takano H., Takakuwa K.,

Tsuji H., Nakagawa T., Imai K., Inoue S.: An Assessment of the Use of Spinal Cord Evoked Potentials in Prognosis Estimation if Injured Spinal Cord. Spinal Cord Monitoring, Ed. by J. Schramm and S. J. Jones, pp 221—226, Springer-Verlag, Heidelberg, 1985.

10) Tamaki T., Takano H., Nakagawa T.: Evoked Spinal Cord Potential Elicited by Spinal and Stimulation and Its Use in Spinal Cord Monitoring. Evoked Potentials, Ed. by R. Q. Cracco and I. B. Wollner, Alan R. Liss, Inc., pp 428—433, 1986.

◆ 原 著

1) 辻 陽雄，佐野明美，本田順子：手術摘出ヒト腰椎椎間板・黄色靱帯の Collagen, Non-collagenous protein および Elastin の地理的分布と椎間板変性. 整形外科基礎科学 13: 483—485, 1986.

2) 辻 陽雄，佐野明美，浦山茂樹，丸田喜美子：実験的椎間板ヘルニアにおける Collagen, Non-collagenous protein の地理学的分布変化と ³H-Lysine incorporation について，整形外科基礎科学 13: 478—482, 1986.

3) 玉置哲也，辻 陽雄，高野治雄，高桑一彦，野口哲夫：馬尾間歇跛行の電気生理学的解析. 臨床整形外科 21: 513—517, 1986.

4) 高野治雄，玉置哲也，高桑一彦，関 隆夫，辻 陽雄，野口哲夫：腰部脊柱管狭窄における馬尾性下肢症状に対する脛・腓骨神経幹電気刺激の効果. 整形・災害外科 29: 673—677, 1986.

5) 平野典和，辻 陽雄，佐野明美，市村和徳：椎間板水代謝に関する研究(第2報)—長軸粗振動が正常椎間板の水代謝に与える影響について—，整形外科基礎科学 13: 469—472, 1986.

6) 丸田喜美子，辻 陽雄，前田明夫，佐野明美：ラット尾椎間板内へのH₂O₂注入による病理学的変化と結合織骨化の誘発(第1報). 整形外科基礎科学 13: 499—502, 1986.

7) 森田多哉，伊藤達雄，山田 均，加藤義治，玉置哲也，辻 陽雄：当教室における Halo-Vest の使用とその工夫. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 29: 199—202, 1986.

8) Itoh T. and Tsuji H.: Technical Improvements and Results of Lamino-plasty for Compressive Myelopathy in the Cervical Spine. Spine 10: 729—736, 1985.

9) Tsuji H.: Developmental Balloon Disc of

the Lumbar Spine in Healthy Subjects. Spine 10: 907—911, 1985.

10) 伊藤達雄：圧迫性頸髄障害に対する En-bloc laminoplasty の意義と価値に関する臨床的研究. 日整会誌 60: 1109—1123, 1986.

11) 石原裕和, 伊藤達雄, 高桑一彦, 上田 剛：極めて稀なりウマチ性環椎後方転位, 側方傾斜および脊髄麻痺を呈した1治験例. 日本リウマチ・関節外科学会雑誌 5: 79—85, 1986.

12) 前田明夫, 海木玄郷, 玉置哲也, 館崎慎一郎, 北川秀機, 風間嘉晶：脊髄くも膜下腔に転移した膀胱腫瘍の1例. 整形外科 37: 497—501, 1986.

13) 金森昌彦, 館崎慎一郎, 西島宗孝, 丸田喜美子, 前田明夫：局所膝窩部リンパ節に血行性転移を示した骨肉腫の1例. 整形外科 37: 625—629, 1986.

14) 梅田 透, 高田典彦, 保高英二, 館崎慎一郎：骨肉腫患肢温存例の機能評価. 整形・災害外科 29: 893—904, 1986.

15) 時田尚志, 田中 昇, 高田典彦, 遠藤富士乗, 館崎慎一郎：ヒト骨肉腫のヌードマウスへの移植. 医学と生物学 113: 277—280, 1986.

16) 山田 均, 館崎慎一郎, 辻 陽雄, 岡野良文, 高田 昴, 石井 勉, 神代靖久：膝関節部色素性絨毛結節性滑膜炎の検討. 整形外科 37: 607—611, 1986.

17) 加藤義治：Ethane-1-hydroxy-1, 1-disphosphonate (EHDP) の成長期骨端軟骨板, 骨幹端に及ぼす形態変化ならびに代謝変調に関する研究. 日整会誌 60: 529—545, 1986.

18) 松井寿夫：RCT sarcoma 肺転移に対する予防的全肺照射の有効性と副作用に関する実験的研究. 日癌治 21: 786—796, 1986.

19) 松井寿夫, 辻 陽雄：腰部椎間板造影における俯瞰ディスクグラムの意義と価値について. 臨床整形外科 21: 883—890, 1986.

20) 市村和徳, 伊藤達雄, 山田 均, 松井寿夫, 丸田喜美子, 辻 陽雄：脊髄腫瘍における腰部退行変性疾患とまぎらわしい症状とその考察. 整形外科 37: 1477—1487, 1986.

21) 松井寿夫, 館崎慎一郎, 加藤義治, 高桑一彦：低リン酸血症性ビタミンD低抗性クル病に腰部部黄色靱帯骨化症を合併した1例. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 29: 408—410, 1986.

22) 吉田孝太郎, 室田景久, 藤川 浩, 高田警嗣：フックプレートをを用いた足関節周辺骨折の治療成績. 整形外科 Mook No43足関節部の外傷: 121—135,

1986.

23) 郭 継陽, 片山国昭, 吉田孝太郎：烏口突起骨折の2例. 関東整災誌 17: 108—112, 1986.

24) 片井能成, 近藤秀丸, 吉田孝太郎：中間広筋皮下断裂の1例. 関東整災誌 17: 117—120, 1986.

25) 飯塚久晴, 室田景久, 富田泰次, 吉田孝太郎：カーボレ繊維強化プラスチックプレートに関する実験的研究. 整形外科基礎科学 13: 125—129, 1986.

26) 岡野良文, 加藤義治, 山田 均：大腿骨遠位骨端線離開を伴った Blount 病 Infantile type の1例. 日本リウマチ関節外科学会雑誌 5: 419—424, 1986.

27) 野口哲夫, 清水美恵子, 安藤千博, 辻 陽雄, 浦山茂樹：骨移植を併用したTHR. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 9: 83—85, 1986.

28) 大島 博, 山田 均, 岡野良文, 米沢孝信, 小坂泰啓, 野口哲夫：化膿性膝関節炎とその治療. 整形外科 37: 299—306, 1986.

29) 玉置哲也, 辻 陽雄, 高野治雄, 高桑一彦, 野口哲夫：馬尾性間歇跛行の電気生理学的解析. 臨床整形外科 21: 513—517, 1986.

30) Tamaki T., Takano T., Takakuwa K. : Spinal Cord Monitoring Basic principles and Experimental Aspects. Central Nervous System Trauma 2: 137—149, 1985.

◆ 総 説

1) 辻 陽雄：脊椎機能障害の病態と治療. 「日本医事新報」第3234号: 26—29, 1986.

2) 辻 陽雄：NSAID, 慢性腰痛に対する有効性とその問題点, セラピューティック・リサーチ 3: 1109—1110, 1986.

3) 辻 陽雄：スポーツによる腰痛の観血的治療. 臨床スポーツ医学 3: 781—786, 1986.

4) 海木玄郷, 辻 陽雄：ビタミンEと整形外科疾患. クリニシャン 33: 92—96, 1986.

5) 伊藤達雄, 豊田 敦：上位頸椎損傷に対する観血的治療. 骨折・外傷シリーズ1, No3 [脊椎の外傷・その1]: 33—42, 南江堂, 1986.

◆ その他

1) 辻 陽雄, 山田 均, 吉田孝太郎：腰椎前方椎体間固定・セラミック棘間ブロック同時合併手術の意義. 日整会誌 60: 214, 1986.

2) 辻 陽雄：再手術所見からみた初回手術の問題点と対策. 日整会誌 60: 49—50, 1986.

3) 辻 陽雄, 館崎慎一郎：整形外科におけるID-P (インドメタシン含有貼付剤)の臨床試験. 基礎と臨床 20: 246—254, 1986.

4) 松井寿夫, 館崎慎一郎, 辻 陽雄: RCT-sarcoma 高肺転移株と低肺転移株の分離と細胞生物学的性状について, 日整会誌 60: 649—650, 1986.

5) 三橋 隆, 辻 陽雄, 塩島和弘, 矢内正男, 森 隆之: 変形性股関節症77例における腰椎のX線学的変化についての検討, 日整会誌 60: 236—237, 1986.

6) Tsuji H., Sano A., Maruta K., Hirano N.: Metabolic Activities of Connective Tissue in Normal and Herniated Lumbar Intervertebral Discs: ^3H -Lysine Incorporation into Collagen and Noncollagenous Protein. Orthopaedic Transaction 9:578, 1985.

7) 丸田喜美子, 辻 陽雄, 浦山茂樹, 佐野明美: 活性酸素としての H_2O_2 による結合繊維骨化誘発の試み(第1報). 脊柱靭帯骨化症調査研究班 昭和59年度研究報告書: 168—169, 1985.

8) 辻 陽雄: 診断学と発想, 整形・災害外科29: 721—722, 1986.

9) 辻 陽雄: 卒前・卒後教育に不可欠な或る認識(3) —高度医療科学の陰にひそむもの—. 「学園だより」富山医科薬科大学 24: 19—20, 1986.

10) 辻 陽雄: 馬尾弛緩について, マルホ整形外科セミナー 第59集, 1986.

11) 辻 陽雄: 腰痛病態解析の基本と外科的治療設計, 大阪臨床整形外科医会会報 5: 11—12, 1986.

12) 辻 陽雄, 館崎慎一郎: 整形外科領域における漢方パップ(EP-407)の使用経験.

13) 辻 陽雄: 腰椎後方手術の体位と2-3の工夫, 脊椎の外傷(榊田ほか編), 南江堂, 1986.

14) 伊藤達雄: 夏の立山, 整形外科 37: 1944, 1986.

15) 山田 均: 経皮吸収型製剤の臨床的意義, Medicament News 1173号, ライフ・サイエンス社, 1986.

◆ 学会報告

1) 吉田孝太郎, 伊藤達雄: 胸腰部脊椎骨折の治療経験, 第14回北陸骨傷研究会, 1986, 2, 金沢.

2) 北川秀機, 伊藤達雄: 胸腰椎部 Burst Fracture に対する前方固定の2治療例, 第14回北陸骨傷研究会 1986, 2, 金沢.

3) 丸田喜美子, 辻 陽雄, 佐野明美: 活性酸素としての H_2O_2 による結合繊維骨化誘導の試み(第2報) —ラット尾椎における H_2O_2 椎間板内注入強制彎曲系について. 脊柱靭帯骨化症調査研究班昭和60年度

班総会 1986, 2, 松本.

4) 上田 剛, 館崎慎一郎, 辻 高明, 大島 博, 石原裕和, 西能 竈: 悪性骨腫瘍が疑われた大腿骨々折の2例, 第98回北陸整形外科集談会, 1986, 3, 金沢.

5) 金森昌彦, 神代靖久, 海木玄郷, 伊藤達雄, 山田 均, 丸田喜美子: 四肢麻痺を合併した頸部化膿性脊椎炎の1例, 第98回北陸整形外科集談会, 1986, 3, 金沢.

6) 若宮一宏, 藤井保寿, 本江 卓, 荒井良重: Muscle-Pedicle-Bone Graft を用いた大腿骨頸部内側骨折の1症例, 第98回北陸整形外科集談会, 1986, 3, 金沢.

7) 木田泰弘, 加藤義治, 吉田孝太郎, 伊藤俊一, 山田 均, 長濱 繁, 小泉富美朝: 特異な白蓋破壊を示したRA股関節の1治療例, 1986, 3, 金沢.

8) 辻 陽雄, 山田 均: 再手術所見からみた初回手術の問題点と対策, 第59回日本整形外科学会学術集会, 1986, 3, 東京.

9) 辻 陽雄, 山田 均, 吉田孝太郎: 腰椎疾患にたいする前方椎体間固定・セラミック棘間ブロック同時合併手術の意義, 第59回日本整形外科学会学術集会, 1986, 3, 東京.

10) 伊藤達雄, 辻 陽雄: 頸部脊柱管拡大術(映画), 第59回日本整形外科学会学術集会, 1986, 3, 東京.

11) 三橋 隆, 辻 陽雄, 塩島和弘, 矢内正男, 森 隆之: 変形性股関節症および前股関節症74例における腰椎のX線学的検討, 第59回日本整形外科学会学術集会, 1986, 3, 東京.

12) 辻 陽雄: 腰椎前方椎体固定・セラミック棘間ブロック同時合併手術, 第59回日本整形外科学会学術集会, 1986, 3, 東京.

13) 松井寿夫, 館崎慎一郎, 辻 陽雄, 落合宏, 林 京子: RCT sarcoma 高肺転移株と低肺転移株の分離と生物学的細胞性質について, 第59回日本整形外科学会学術集会, 1986, 3, 東京.

14) 玉置哲也, 高野治雄, 高桑一彦, 山田 均, 辻 陽雄, 今井克己, 村上正純: 術中脊髄機能モニタリングを目的とした誘発電位記録装置と自動アラームシステムの開発, 第59回日本整形外科学会学術集会, 1986, 3, 東京.

15) 辻 陽雄, 伊藤達雄, 山田 均: 人工頸椎椎間板の試作と臨床応用, 第66回中部日本整形外科災害外科学会, 1986, 5, 神戸.

16) 北野 悟, 山田 均, 下山勝仁, 伊藤達雄, 辻 陽雄: 大前根動脈からの塞栓術により好結果の

得られた脊髄動脈奇形の2例. 第66回中部日本整形外科災害外科学会. 1986, 5, 神戸.

17) 辻 高明, 加藤義治, 木田泰弘, 山田 均: 乳児化膿性股関節炎の難航例とその反省. 第99回北陸整形外科集談会. 1986, 6, 福井.

18) 野村栄貴, 野口哲夫, 清水美恵子, 泉田重雄, 館崎慎一郎, 山田 均: 慢性膝関節水腫を主訴とした Behcet 病の1例. 第99回北陸整形外科集談会. 1986, 6, 福井.

19) 野口哲夫, 長尾竜郎, 清水美恵子: 脳卒中片麻痺患者の坂道歩行における床反力の研究(第2報). 第23回日本リハビリテーション学会. 1986, 6, 長崎.

20) 辻 陽雄, 豊富誠三: 圧迫変形をうけた腰神経根の理論的応力分布の特性と神経除圧の考え方について. 第15回脊椎外科研究会. 1986, 6, 東京.

21) 山田 均, 辻 陽雄, 伊藤達雄, 吉田孝太郎, 高野治雄, 高桑一彦: 腰部癒着性くも膜炎(LAA)の病態と症状について. 第15回脊椎外科研究会. 1986, 6, 東京.

22) 長濱 繁, 山田 均, 加藤義治, 北川秀機, 伊藤達雄, 鈴木康将, 島田一郎, 田沢賢治, 野田誠: 第15回北陸リウマチ関節研究会. 1986, 7, 金沢.

23) 館崎慎一郎, 辻 陽雄, 伊藤達雄, 山田均, 加藤義治, 松井寿夫: 転移性脊椎腫瘍にたいする手術療法の適応と限界について. 第19回骨・軟部腫瘍研究会. 1986, 7, 千葉.

24) 木田泰弘: 脊髄硬膜外血腫の一治験例. 須高医師会. 1986, 7, 須坂.

25) 平野典和, 辻 陽雄, 浦山茂樹, 佐野明美: 椎間板水代謝に関する研究(第3報) — 力学的振動負荷におけるヘルニア椎間板の水代謝変調について —. 第1回日整会基礎学会. 1986, 8, 金沢.

26) 大島 博, 辻 陽雄, 平野典和, 佐野明美: 椎間板水代謝に関する研究(第4報) — 豚尾椎椎間板の連続圧縮荷重における水分移動について —. 第1回日整会基礎学会. 1986, 8, 金沢.

27) 半田豊和, 辻 陽雄: ^{35}S 全身オートラジオグラムによるラット腰椎椎間板のプロテオグリカン出納パターンについて(第1報). 第1回日整会基礎学会. 1986, 8, 金沢.

28) 高桑一彦, 高野治雄, 辻 陽雄, 玉置哲也: 脊髄モニタリングにおける刺激電極周辺の脊髄障害性に関する電気生理学的・形態学的実験的研究. 第1回日整会基礎学会. 1986, 8, 金沢.

29) 山田 均, 高野治雄, 高桑一彦, 小坂泰啓, 辻 陽雄, 玉置哲也: 家兎坐骨神経の伸張と伸張還

元における電気生理学的変化について. 第100回北陸整形外科集談会. 1986, 9, 金沢.

30) 清水美恵子, 野口哲夫, 野村栄貴, 長尾竜郎, 泉田重雄: 片麻痺内反尖足に対する矯正術後の検討(第1報) — 床反力計による分析 —. 第100回北陸整形外科集談会. 1986, 9, 金沢.

31) 山田 均, 辻 陽雄: 変形性関節症に対するフルルビプロフェン貼付剤(FP-A)の臨床評価 — インドメタシン軟膏との比較試験 —. 第2回経皮吸収型製剤シンポジウム. 1986, 9, 東京.

32) 館崎慎一郎, 辻 陽雄, 伊藤達雄, 加藤義治, 松井寿夫, 石崎良夫, 亀井哲也: 転移性脊椎腫瘍の治療方針. 第24回日本癌治療学会総会. 1986, 10, 松江.

33) 加藤義治, 伊藤達雄, 館崎慎一郎, 辻 陽雄: En-bloc laminoplasty による頸部脊髄腫瘍の治療経験. 第24回日本癌治療学会総会. 1986, 10, 松江.

34) 伊藤達雄: 頸椎リウマチにおける外科治療と管理. 北陸リウマチ教育研修会. 1986, 10, 富山.

35) 伊藤達雄: RA における脊椎病変 — 頸椎. 第14回日本リウマチ関節外科学会. 1986, 10, 宮崎.

36) 玉置哲也, 中川武夫, 高野治雄: 末梢神経電気刺激法とその臨床応用について. 第16回日本脳波筋電図学会. 1986, 10, 筑波.

37) 伊藤達雄: 広範囲椎弓切除術からみた脊椎固定術の適否. 第67回中部日本整形外科災害外科学会. 1986, 10, 富山.

38) 山田 均, 辻 陽雄: 腰部癒着性脊髄膜炎の原因的背景, ミエログラムおよび術中所見. 第67回中部日本整形外科災害外科学会. 1986, 10, 富山.

39) 米沢孝信, 坂巻 皓, 小林健一, 松岡 明, 望月真人, 岡本 弦, 小野智敏: 患者の満足度よりみた頸部脊髄症の術後成績. 第67回中部日本整形外科災害外科学会. 1986, 10, 富山.

40) 丸田喜美子, 堂後昭彦, 遠藤富士乗: 良性骨腫瘍として経過観察されていた足根骨髄炎の2症例. 第67回中部日本整形外科災害外科学会. 1986, 10, 富山.

41) 森田多哉, 伊藤達雄, 館崎慎一郎, 北野悟, 寺畑信男: 転移性頸椎腫瘍に対する Luque rod の使用経験. 第67回中部日本整形外科災害外科学会. 1986, 10, 富山.

42) 加藤義治, 辻 陽雄, 松井寿夫, 佐野明美: 各種疾患によるくる病, 骨軟化症の臨床および病理所見. 第8回北陸骨 Ca 代謝談話会. 1986, 11, 金沢.

43) Tsuji H.: Bone Replacement and Artificial

Joints. Academic/Industry Joint Conference 1986, 11, San Antonio.

44) 増山喜一, 落合 宏, 松井寿夫, 田沢賢次, 庭山清八郎, 藤巻雅夫: β -cyclodextrin benzaldehyde (LDBA) のマウス肺転移抑制効果. 第45回日本癌学会, 1986, 11, 札幌.

45) 野村栄貴, 野口哲夫, 泉田重雄: 正常人の足関節 laxity. 第13回関東整形災害外科学会, 1986, 11, 東京.

46) 木田泰弘: 最近の大腿骨頸部骨折症例. 須高医師会, 1986, 11, 須坂市.

47) 山田 均, 伊藤達雄: 症例呈示 MRA. 北陸地区リウマチ教育研修会, 1986, 10, 富山.

48) 山田 均, 伊藤達雄: 症例呈示 RA, MRA. 第1回富山県リウマチ性疾患研究会, 1986, 9, 富山.

49) 丸田喜美子, 堂後昭彦, 遠藤富士乗: 過去3年間の当院における胸髄疾患について. 第757千葉医学会整形外科例会, 1986, 12, 千葉.

50) 北川秀機, 伊藤達雄, 飯田鷗二, 田島剛一, 越島慶隆: 非常に稀な idiopathic osteolysis (tarso-carpal type) の1症例. 第101回北陸整形外科集談会, 1986, 12, 富山.

51) 山上 亨, 山田 均, 小坂泰啓, 石井 勉, 伊藤達雄, 山下真一郎, 関 隆夫: MRI が診断上有効であった上位頸髄腫瘍の1例. 第101回北陸整形外科集談会. 1986, 12, 富山.

52) 寺畑信男, 館崎慎一郎, 森田多哉, 山本直也, 吉田孝太郎, 上田 剛: 下肢痛を初発症状とした前立腺癌のびまん性髄膜転移の1例. 第101回北陸整形外科集談会, 1986, 12, 富山.

53) 野口哲夫, 野村栄貴, 半田豊和, 泉田重雄: 放置された成人の内反足の1治験例. 第101回北陸整形外科集談会, 1986, 12, 富山.

◆ その他

1) 辻 陽雄: 手術適応の腰痛・腰下肢痛. 第2回日本総合理学療法学術大会, 1986, 1, 東京.

2) 辻 陽雄: 慢性腰痛の解析の仕方と外来治療のコツ. 福岡整形外科医会, 日整会教育講演, 1986, 1, 福岡.

3) 辻 陽雄: 外来における腰痛解析と治療の考え方と実際. 第280回岩手整形災害外科懇談会, 日整会教育講演, 1986, 2, 盛岡.

4) 辻 陽雄: 腰痛の治療. 痛みの治療講習会(国立熊本病院主催), 1986, 4, 熊本.

5) 辻 陽雄: 腰下肢痛の病態と治療設計—とくに外科的治療にまつわる基礎的臨床的諸問題—. 日

整会教育研修講演, 1986, 4, 福岡.

6) 辻 陽雄: 老人のかかり易い病氣. 昭和61年度富山医科薬科大学公開講座, 1986, 6, 富山.

7) 伊藤達雄: 圧迫性頸髄障害の診断と治療. 滑川医師会学術講演会, 1986, 6, 滑川市.

8) 山田 均: ヨット事故の医学的処置について. 昭和61年度富山県ヨット安全指導者講習会, 1986, 1, 富山.

9) 辻 陽雄: 腰椎外科手術の基本. 昭和61年度名市大整形外科セミナー特別講演, 日整会教育研修講演, 1986, 6, 名古屋.

10) 辻 陽雄: 「看護教育のためのリハビリテーション概論」について. 第17回全国高等学校長協会看護部会 北信越ブロック研究協議会講演, 1986, 7, 高岡市.

11) 辻 陽雄: 腰痛の考え方と外来治療. 学術講演(エーザイKK主催), 1986, 8, 富山.

12) 辻 陽雄: 神経根圧迫障害の局所病態と外科的治療の考え方・後方侵襲の基本. 富山医科薬科大学 第3回立山セミナー, 1986, 8, 富山.

13) 辻 陽雄: 腰椎不安定性の病態・評価および脊椎固定術の基本的考え方. 富山医科薬科大学 第3回立山セミナー, 1986, 8, 富山.

14) 山田 均: unstable knee の病態, 把え方と治療管理のコツ. 富山医科薬科大学 第3回立山セミナー, 1986, 8, 富山.

15) 辻 陽雄: 卒前・卒後教育雑感. 第100回北陸整形外科集談会記念講演, 1986, 9, 金沢.

16) 辻 陽雄: シンポジウム「炎症性疼痛の診断と治療」—骨・関節・筋肉疾患の痛み—特別発言. アルボ新発売記念講演会「痛みと炎症'86」, 1986, 9, 名古屋.

17) 辻 陽雄: 腰椎椎間板ヘルニア病態の種々相と観血的治療の考え方と基本. 第30回整形外科金剛会, 日整会教育研修講演, 1986, 9, 大阪.

18) 山田 均: 婦人のためのスポーツ医学. 昭和61年度富山県婦人スポーツ活動リーダー講習会, 1986, 9, 富山.

19) 辻 陽雄: 腰痛の診断と治療. 台糖ファイザー(株)学術講演会特別講演, 1986, 10, 岡山.

20) 加藤義治: スポーツ外傷と障害. 第1回健康・スポーツ医学セミナー, 1986, 10, 富山.

21) 辻 陽雄: 脊椎不安定性の病態と治療へのアプローチ. 第27回日本医科大学整形外科学教室集談会特別講演(日整会教育講演), 1986, 11, 東京.

22) 辻 陽雄: 馬尾弛緩について. 日本短波放送, 1986.